

参加者募集

フォイリングアカデミー開催

日本海洋アカデミー×Japan SailGP Team

2019年3月30日

セーリング競技の主流になりつつあるフォイリング。日本海洋アカデミーでは下記の日程でフォイリングを体験する特別プログラム「フォイリングアカデミー」を開催します。アドバイザーとして、世界最速のヨットレース SailGP（セールジーピー）に参戦中の Japan SailGP Team（ジャパン・セールジーピー・チーム）から早福和彦氏を迎えます。世界に挑戦したい夢を持つ若手セーラーの皆さん、奮ってご参加ください。



開催日： 4月18日（木）～21日（日） 4日間
開催場所： シーボニアマリーナ沖（神奈川県三浦市）
使用艇： GC32
講師： マニユー・ウェラー（マンマユート）後藤浩紀（国際モス級日本チャンピオン）他
アドバイザー 早福和彦（Japan SailGP Team）

【募集要項】

ユース、大学、社会人レベルで高いセーリング技術を持つ18～35歳までの健康な男女。
スポーツ経歴を記した履歴書をメールまたは郵送にてご送付ください。

応募〆切：4月10日（水）

送付先：〒238-0225 神奈川県三浦市三崎町小網代1286 シーボニアマリーナ内
一般社団法人日本海洋アカデミー メール kaiyofukyu@riviera.co.jp



一般社団法人

日本海洋アカデミー



【SailGP とは？】

SailGP(セールジーピー)は米オラクル社の創始者で自らもセーラーであるラリー・エリソンと、セーリング界のレジェンド、ラッセル・クーツが2018年に立ち上げたヨットレース界に新風を吹き込むプロフェッショナルのチャンピオンシップです。

レース艇は全長 50 フィート、飛行機の翼のような形状のウイングセールと水中翼を搭載し、最高速度 50 ノット(時速約 100 キロ)に迫るスピードで疾走するフォイリングカタマラン「F50」です。

F50 はすべてが全く同じ同型艇。国を代表するセーラーたちがその真の実力を競います。

開幕シーズンとなる 2019 年はイギリス、オーストラリア、アメリカ、フランス、中国そして日本の 6 カ国が参加し、豪シドニー大会(2月)を皮切りに、米サンフランシスコ大会(5月)、米ニューヨーク大会(6月)、英カウズ大会(8月)、仏マルセイユ大会(9月)の 5 大会が予定されており、ファイナルのマルセイユ大会では総合優勝チームに 100 万 US ドルの賞金が渡されます。

日本チームを最高執行責任者(COO)として運営サイドから支えるのは、5 回のアメリカズカップ挑戦経験があるベテランセーラーの早福和彦です。セーリングチームには 470 級ロンドン五輪代表の吉田雄悟、吉田と共にソフトバンク・チームジャパンで 2017 年の第 35 回アメリカズカップに挑戦した笠谷勇希、そして同じ年に行われたユースアメリカズカップ(19~24 歳)で海神チームジャパンのヘルムスマンを務めた高橋レオが参加しています。

1 シーズン目の今年、日本チームにはオーストラリア代表として五輪に出場し 49er 級で金・銀メダルを獲得したネイサン・アウトリッジとイアン・ジャンセン、さらに世界一周ボルボオーシャンレース優勝のルーク・パーキンソンが加入し、スタートダッシュを狙います。

※ワールドセーリング(国際セーリング連盟)の特別イベントである SailGP には国籍ルールが適用されており、セーリングチームはその国の国籍を有するセーラーのみで構成されています。しかし、リーグ参加時点で F50 を安全に操船する経験や競争力を持たない国については、段階的に国籍比率を 100%に上げるという例外的な措置が適用されており、最初のシーズンである今年は日本と中国が 40%の国籍比率でスタートします。その後、1年ごとに比率が 20%ずつ引き上げられ 4 シーズン目にはセーラー全員が日本国籍保有者となります。

SailGP は世界中のスポーツファンにセーリング競技の魅力を発信するだけでなく、スポーツとしてのセーリングの魅力を次世代に紹介し、卓越したセーラーに新たなキャリアを作り出すことを目的としており、今後、日本でも次世代のトップセーラーを育てるデベロッピングプログラムを全国開催する予定です。今回のフォイリングアカデミーはその第一弾となります。